

2022年 11月 30日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

**株式会社 JTOWER による株式会社 NTTドコモからの  
通信鉄塔カーブアウトプロジェクトに対する投資契約の締結について**

三井住友信託銀行株式会社(代表取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、株式会社 JTOWER(代表取締役社長:田中 敦史、以下「JTOWER」)が組成する株式会社 NTTドコモ(代表取締役社長:井伊基之、以下「ドコモ」)からの通信鉄塔カーブアウトプロジェクト(以下「本プロジェクト」)への投資にかかる契約を締結いたしましたのでお知らせします。

5G 等次世代ネットワークの早期整備は、地方創生・デジタルデバイドの解消、スマートシティ化の促進等の社会課題解決や持続可能な社会の実現に貢献するものとして、総務省の「デジタル田園都市国家構想インフラ整備計画」などでも掲げられておりますが、設備投資・運用コストの効率化や通信鉄塔の重複工事、自然環境及び景観に対する影響の観点からインフラシェアリングと共に推進していくことが注目されております。

JTOWER は、日本初のインフラシェアリング会社として、2020 年度よりタワー事業にも参画し、日本におけるインフラシェアリングをリードしております。本プロジェクトは、ドコモからの鉄塔の移管を本格化し、インフラシェアリングへの活用を推進するもので、携帯キャリア等の設備投資・運用コストの効率化を実現し、5G 等ネットワークの早期整備を促進する取組みです。

当社は、脱炭素や地域経済の活性化や本プロジェクトのようなデジタル領域の成長に資する事業や企業を含めた各種インフラ領域などにおいて、信託の専門性を活かした社会課題解決型の資金循環を実現していくため、2030 年度までに累計 5,000 億円の投資を実施する予定です。また、それを呼び水として機関投資家の資金を募り、2.5 兆円の投資規模としていく計画であり、本プロジェクトへの投資はその一環として実施したものです。5G 等次世代ネットワークを活用した社会の本格到来に向けて、日本におけるインフラシェアリングビジネスの転換点にある本プロジェクトをリスクマネー供給という形で支援して参ります。

加えて、当社はこれまで培ってきたインフラ分野における金融ノウハウおよび信託の専門性によるシナジーを発揮し、JTOWER の更なるインフラシェアリング事業の推進を支援するとともに持続可能な社会の実現に向けたインパクト創出に取り組んでいきます。

以上